Creative Enzymes®

ネイティブ牛ガラクトシルトランスフェラーゼ

Cat. No. NATE-0274

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	ガラクトシルトランスフェラーゼは、オリゴ糖の合成においてガラクトシル分子の転送を触媒します。
用途	ガラクトシルトランスフェラーゼは、乳糖合成酵素系の触媒成分です。これは、調節タンパク質α-ラクトアルブミンが存在しない場合に乳糖をゆっくり合成します。ガラクトシルトランスフェラーゼは、UDP-ガラクトースからN-アセチルグルコサミンにガラクトースを転送することもあります。この調製物は、α-ラクトアルブミン、UDP-ガラクトース、およびN-アセチルグルコサミンの測定に役立ちます。
別名	EC 2.4.1.22; UDP-α-D-ガラクトース-グルコース ガラクトシルトランスフェラーゼ; N-アセチルラクトサミンシンターゼ; ウリジン二リン酸ガラクトース-グルコース ガラクトシルトランスフェラーゼ; ラクトースシンターゼ; UDP-ガラクトース:D-グルコース 4-β-D-ガラクトトランスフェラーゼ; UDP-ガラクトース:D-グルコース 4-β-D-ガラクトシルトランスフェラーゼ; 9031-68-9

製品情報

種	牛の
由来	牛乳
形態	トリス、EDTA、および(NH4)2SO4を含む凍結乾燥粉末
EC番号	EC 2.4.1.22
CAS登□番号	9031-68-9
混入物	<10 % タンパク質 α-ラクトアルブミン
単位定義	1ユニットは、反□混合物1 mLあたり0.2 mgのα-ラクトアルブミンが存在する条件下で、pH 8.4、30°CでUDP-ガラクトースからD-グルコースに1.0 µmoleのガラクトースを1分あたり転送します。（α-ラクトアルブミンを追加しない場合、活性はゼロです）

保管・発送情報

保存方法	−20°C